

令和8年3月27日（金）

中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議

「人×経済」の両輪で富山県を前へ！

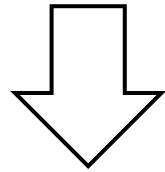
～オール富山で推進する両輪パッケージ～

富山県商工労働部

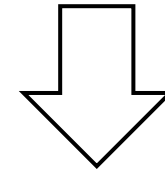
「富山県総合計画」

政策の柱 1 未来に向けた人づくり

政策の柱 2 新しい社会経済システムの構築



具体施策：両輪パッケージ



富山県人材確保・活躍パッケージ、始動

— 「人が減る」時代を、「人が輝く」転機に。みんなで作る「選ばれる富山」 —

- 人材確保** 富山とつながる、新しい入口
スポットワーク、家族リターン、多様な人材が活躍
- 人材育成** 学びが、地域の力になる
学ばば何歳からでも、地元にもこんな仕事がある
- 働き方改革** 誰もが、自分らしく働ける
私らしく働ける、公平に評価される、柔軟な働き方
- 省化・省人化** 技術で、働くをもっとラクに
仕事が楽になった、デジタル化でサマースマートに、残業が減った

選ばれる富山

中長期の取組み
職業観の変容、関係機関との連携

277 事業・167億円

富山県経済の好循環加速化パッケージ

生産性向上を起点に、持続的な賃上げを実現し、企業の稼ぐ力を高め、経済の好循環を加速させます！

- 生産性向上** 構造転換、付加価値向上、DX-GX支援、利益UP、毎年度購買
- 持続的な賃上げ** 賃上げ環境の整備、労働者の処遇改善、正社員化、賃上げサポート
- 物価高対応・消費喚起** 物価高対策（施設入支援、米価高騰支援、九米アム商品券、GIFT）、エネルギー価格高騰対策

生活者 事業者

154事業・173億円

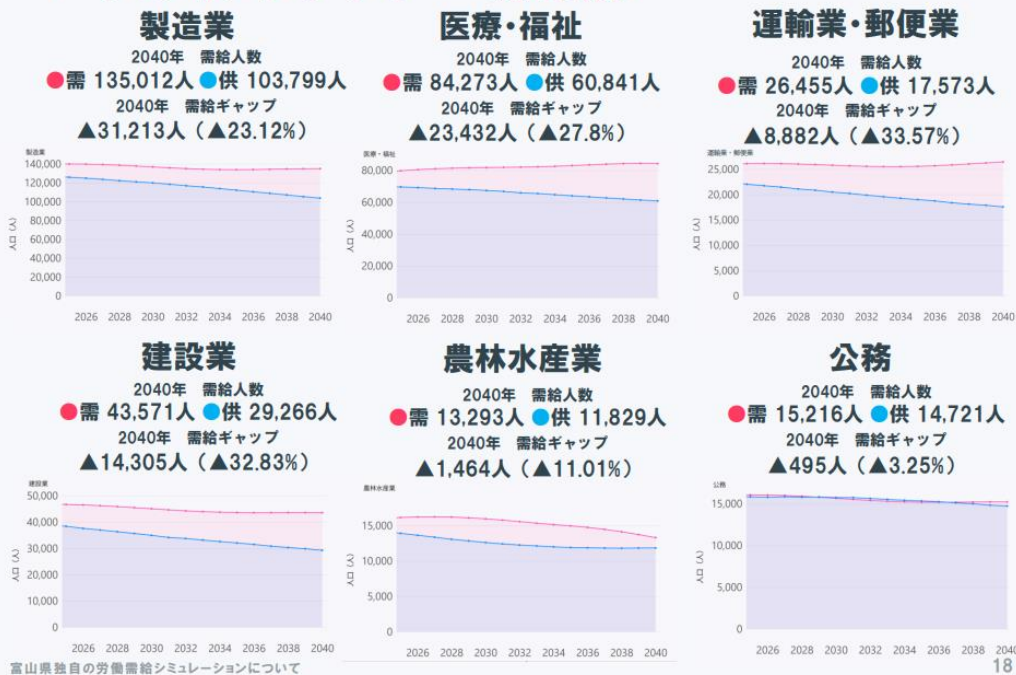
強い経済（稼ぐ力）なくして人は定着せず、人の活躍なくして経済は成長しない。
両輪を噛み合わせ、同時に、かつ強力に回し続けることがカギ

2040年労働需給シミュレーション（富山県立大学他）

ベースラインシナリオ ～労働人口～

- ・ 2040年で、 ● 需要が531,700人、● 供給が428,109人
- ・ 全体で**103,591人の不足**

ベースラインシナリオ ～分野別～



ベースラインシナリオ ～分野別まとめ～

2030年予測

2040年予測

所属産業	需給ギャップ(人)	割合(%)
製造業	-16,918	-12.36%
医療・福祉	-14,400	-17.61%
運輸業・郵便業	-5,308	-20.57%
建設業	-10,108	-22.43%
農林水産業	-3,352	-21.02%
公務	82	0.52%
電気・ガス・熱供給・水道業	-2,210	-36.69%
宿泊・飲食サービス業	-3,843	-14.17%
卸売・小売業	-9,812	-11.80%
教育・学習支援業	-4,570	-15.19%
金融・保険業	-138	-1.18%
情報通信業	537	5.37%
不動産業	-315	-6.10%
其他サービス業	10,824	23.25%
鉱業	-97	-47.09%

所属産業	需給ギャップ(人)	割合(%)
製造業	-31,213	-23.12%
医療・福祉	-23,432	-27.80%
運輸業・郵便業	-8,882	-33.57%
建設業	-14,305	-32.83%
農林水産業	-1,464	-11.01%
公務	-495	-3.25%
電気・ガス・熱供給・水道業	-7,834	-70.07%
宿泊・飲食サービス業	-4,096	-16.50%
卸売・小売業	-4,654	-6.53%
教育・学習支援業	-11,894	-33.63%
金融・保険業	-1,071	-9.57%
情報通信業	-753	-7.15%
不動産業	1,236	39.45%
其他サービス業	5,347	11.58%
鉱業	-81	-51.59%

基幹産業として製造業、生活維持サービスとして医療・福祉、建設、運輸・郵便に注目すると、2040年では**20%を超える人手不足**が予想される
人手不足は即生活が成り立たなくなるわけではなく、機会損失やサービス水準の低下として既に現れつつある

⇒ 徒に危機や不安を強調するものではなく、「未来を主体的に設計するための材料」

富山県人材確保・活躍パッケージ、始動

—「人口が減る」時代を、「人が輝く」転機に。みんなでつくる「選ばれる富山」—

人材確保

富山とつながる、新しい入口

気軽に スポットワーク 家族とリターン

多様な人材が活躍



人材確保・活躍の富山モデル

STEP 1 力強く始動
パッケージを現場に展開

STEP 2 現場で変化
先進的な成功事例が誕生

STEP 3 共感が拡大
人を大事にする評判が拡散

STEP 4 次の人材を誘引
人が集まり、選ばれる富山へ

選ばれる富山

成果を踏まえてパッケージの不断の見直しへ



働き方改革

誰もが、自分らしく働ける

私らしく働ける 公平に評価される

昇格 昇給 育休取得



人材育成

学びが、地域の力になる

学びは何歳からでも

地元にもこんな仕事がある

仕事に活かせ



中長期の取組み

職業観の変容

関係機関との連携

行政 教育 産業



省力化・省人化

技術で、働くをもっとラクに

仕事が減った デジタル化でサービスモスマートに

DX AI

残業が減った



⇒ 人材戦略とは、奇策で改善するほど単純な課題ではない。
言葉以上に実態（働きやすさ×働きがい）が伴う「王道の徹底」こそが重要

I. 策定の趣旨

1. 背景：「労働供給制約社会」

医療・福祉、教育、運輸、農業、建設、公共交通、行政、警察など、県民生活の維持に不可欠なエッセンシャルワーク分野をはじめ、人材不足が一層深刻化。

2. めざす姿：「人材確保・活躍の富山モデル」

「人を奪い合う」発想から「人が富山を選ぶ」構図への転換を図る。
「一人ひとりのウェルビーイングを高めることで、結果として産業競争力、県全体の活力を創出する」との新たな視座に立ち、「富山で働く価値」を高める人材戦略を構築。

	これまでの発想・コンセプト	大きく舵を切る	新たな発想・コンセプト
力点	組織側・産業側のニーズ (人材=コスト・資源)		県民一人ひとりのウェルビーイング向上 (人材=未来への投資)
視点	「組織・産業が人を選ぶ」		働きがいのあり、働き暮らしやすい「選ばれる富山」
目的	人手不足への対応		人が自然と集まり、定着し、活躍する好循環の創出

3. 期間：富山県総合計画の計画期間に準拠

2026年度直ちに取組む施策をパッケージ化。県総合計画のもと、成果と現場の変化を踏まえ、2030年のモデル確立に向け、パッケージを不断に見直しながら推進する。

本パッケージの本質は「人手不足対策」ではなく、 発想の転換：組織中心から、人中心へ。

「人を奪い合う」のではなく、「選ばれる富山」へ。

組織中心



「人手が足りないから
来てほしい」

人は動かない

人中心



「能力を発揮し、
ウェルビーイングを
実感できる」

人を惹きつけ、地域が活性化する

マイナスサム「消耗戦」(斥力) ⇒ プラスサム「価値創造」(引力)

参考：富山発・全国から注目を集める先進事例（ミクロモデル）

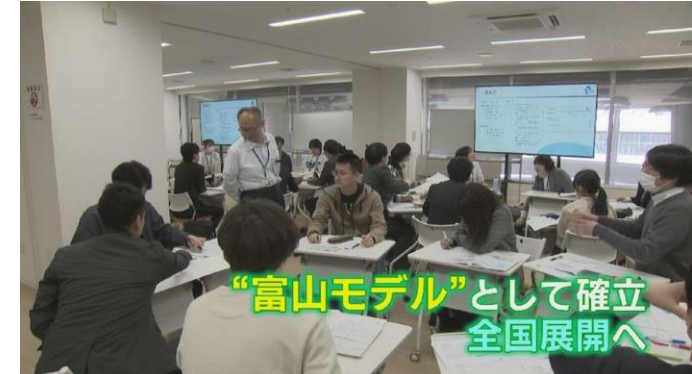
- 例1) 平野電業（富山市）：ボルダリング施設を無料で使用できるように
人材確保 横展開要素：社員の趣味もしっかりと応援
- 例2) 富山大学附属病院：手術を交代制に。若手育成、女性医師増加(1→9名)
働き方改革 横展開要素：属人的業務の標準化・分担化（“俺流”を許さない）
- 例3) 富山県立大：バイオ医薬品の製造や品質管理、品質保証を担う人材育成講座の開設
人材育成 横展開要素：「富山ならではの」人材育成の場づくり



出典：富山テレビ(2025年11月4日)
他に、NHK WORLD(2025年11月8日) や
LBS（日本経済新聞社とテレビ東京系列の
5つのローカル局でも2025年3月10日報道)



出典：富山テレビ(2025年11月27日)



出典：チューリップテレビ(2025年5月7日)

「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の展開①

- 物価高、深刻な人手不足など、中小・小規模事業者が直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、**生産性向上**を起点に、**持続的な賃上げ**を実現し、**経済の好循環を加速**させることが重要。
- その実現に向け、「富山県経済の好循環加速化パッケージ」（第1弾～第3弾の合計：**173.9億円**）を展開。

生産性向上

● 構造転換・付加価値向上

- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」
- ・専門家派遣による経営力強化集中支援
- ・中小企業トランスフォーメーション補助
- ・とやま人材リスキリング補助
- ・福祉分野におけるテクノロジー導入支援
- ・とやま型スマート農業普及拡大支援

● 価格転嫁の推進

- ・価格転嫁サポート補助
- ・価格転嫁推進サポーターによる伴走支援

持続的な賃上げ

● 賃上げ環境の整備

- ・賃上げ応援支援
- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」(再掲)
- ・富山県賃上げサポート補助
- ・富山県キャリアアップ^o奨励
- ・介護分野の賃上げ・職場環境改善支援
- ・障害福祉従事者の処遇改善支援
- ・医療分野の賃上げ・物価上昇に対する支援

物価高対応・消費喚起

● 物価高対策

- ・原料米価格高騰対策緊急支援
- ・融資制度「米価高騰対策枠」
- ・医療・介護・保育・障害福祉施設、学校施設、農林水産業、指定管理施設への支援
- ・ひとり親家庭への支援
- ・学校給食費負担の抜本的軽減

● エネルギー価格高騰対策

- ・特別高圧、LPガスの負担軽減

● 消費喚起

- ・プレミアム商品券の発行による生活支援・消費喚起
- ・省エネ家電・機器買い換え促進による生活者支援

戦略的な 広報発信

- 関係機関・商工団体等と連携した展開
- 県HPの特設サイトで随時更新・発信

県HP特設サイト⇒



「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の展開②

第1弾【R7 11月補正】

先行的な現場密着の即応支援（県単独）

第1弾～第3弾計 **173.9億円**

4.2億円

- ・専門家派遣による経営力強化集中支援事業（728万円）
- ・価格転嫁サポート補助金（500万円）
- ・県融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」（4億円）
- ・賃上げ応援事業（500万円）

第2弾【R7 11月補正（追加）】

重点支援地方交付金等の先行的な活用

64.6億円

- ・中小企業トランスフォーメーション補助金（7億円）
- ・とやま人材リスクリング補助金（2,700万円）
- ・賃上げサポート補助金（3,800万円）
- ・キャリアアップ奨励金（9,000万円）
- ・医療・介護・障害福祉の賃上げ支援（26億100万円）
- ・特別高圧、LPガスの負担軽減（3億2,100万円）
- ・プレミアム商品券の発行（3億9,000万円）
- ・原料米価格高騰対策緊急支援（3億6,500万円）
- ・県融資制度「米価高騰対策枠」（1億2,500万円）
- ・社会福祉施設・学校・農林水産事業者等の物価高騰支援（18億965万円）

第3弾【R7 2月補正】【R8当初】

国補助、重点支援地方交付金の追加活用、県単独の追加支援

105.1億円
 (R7 2月補正 47.3億円)
 (R8当初 57.8億円)

- ・福祉分野のテクノロジー導入支援（6億5,311万円）
- ・低燃費タイヤ導入費支援（1,500万円）
- ・とやま型スマート農業推進（1億4,149万円）
- ・農業共同利用施設再編集約合理化等支援（12億7,787万円）等
- ・賃上げ応援事業（1,000万円）
- ・農福プラス連携マルシェ（仮称）開催（100万円）等
- ・価格転嫁総合推進事業（1,570万円）
- ・省エネ家電・機器買い換え促進（7億円）
- ・ひとり親家庭応援（1億1,600万円）
- ・子ども食堂物価高騰対策応援（400万円）
- ・社会福祉施設・学校・農林水産事業者等の物価高騰支援（9億725万円）
- ・高齢者施設・障害福祉施設のサービス継続支援（7億9,940万円）
- ・学校給食費負担軽減（25億4,465万円）

ミクロの実践

マクロの帰結



人が輝く⇒強い経済に⇒人が集まる⇒・・・
「人×経済」の両輪で富山県を前へ！